

 <p>Yori Dori Midori よりのどりのどり</p>	<h2>「橋戸田んぼ」で小学生が田植えを体験！ ～ 田んぼによって大泉地域の風景を再現～</h2>	
と き	平成 29 年 6 月 12 日 (月) 午前 8 時 50 分 ~ 10 時 15 分 大泉第一小学校・橋戸小学校 平成 29 年 6 月 13 日 (火) 午前 8 時 50 分 ~ 10 時 00 分 大泉北小学校	
と こ ろ	練馬区立大泉橋戸公園 (練馬区大泉町 2 - 9 - 3 4)	
<p>12日(月)および13日(火) 区立大泉橋戸公園(大泉町2丁目)内の水田で、周辺の小学校3校の児童214人が田植えを体験した。水田は、周辺の小学校や地域団体から、地域の風景を復元したいという強い要望を受けて区が整備。「橋戸田んぼ」として親しまれている。</p> <p>管理運営は、地域の橋戸水田自主管理会(会長:篠崎利光)が主体となり行っている。平成24年の開園以来、毎年、周辺の3校の小学校の児童が稲作を体験している。</p> <p>当日は、管理会があらかじめ園芸用ポットで育てておいた苗を、児童が田んぼに入って手で植えていく。「苗が倒れないよう田んぼを平らにならしながらしっかり植えてね」、「苗は印に沿ってまっすぐ植えようね」など、管理会の方々からアドバイスを受けながら、児童は慣れない泥の中での作業に奮闘した。田んぼから上がった児童からは、「泥が冷たくて気持ちよかった」、「はじめて体験したけど楽しい」と笑顔がこぼれた。</p> <p>秋には稲刈り体験も行い、収穫したお米を味わう予定。</p>		



当日の写真

【当日の様子】

児童は靴下で田んぼに入り、苗が一行に並ぶよう目印に沿って植えていく。

泥に足を踏み入れ「冷たい」「転びそう」と初めての体験に戸惑っていた子どもたちも、田んぼから上がる頃には「ぬるぬるして面白かった」「もう一回やりたい」と目を輝かせ、全員が体験し終わった後に、2回3回と挑戦する児童も見られた。

同会会長の篠崎利光さんは、「子どもたちの笑顔が何よりの楽しみで、励みとなります」と話し、児童が田植えをする様子を嬉しそうに眺めていた。

各校の参加人数(12日:大泉第一小学校54人・橋戸小学校45人、13日:大泉北小学校115人)



当日の様子

(参考)【橋戸田んぼについて】

区立大泉橋戸公園の「田んぼ」は、園内に残る弁天池の湧水を活用し、かつて白子川流域で行われていた水田を復元整備したもの。水田面積は230㎡で6枚の田んぼに分かれている。

(参考)【橋戸水田自主管理会とは】

同会は、大泉町近隣の3校(大泉第一小学校、大泉北小学校、橋戸小学校)の児童に米作りの体験を通じ、学校間の交流と地域コミュニティの醸成に寄与することを目的として、平成24年に結成された組織。児童への田植え体験指導をはじめ、除草や水量調整といった水田の全般的な維持管理を行っている。

「橋戸の田んぼのことを子どもたちに少しでも知ってもらえれば」との思いで、種まきや田起こし、代かきを実施し、田植え体験に向けて準備を進めてきた。